

プロロジス、新開トランスポートシステムズ専用物流施設「プロロジスパーク神戸 4」の竣工式を挙行



「プロロジスパーク神戸 4」

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役社長:山田 御酒)は兵庫県神戸市において、株式会社新開トランスポートシステムズ(東京都江東区、以下新開トランスポートシステムズ)の専用物流(BTS 型)施設「プロロジスパーク神戸 4」の竣工式を執り行いました。

竣工式には、新開トランスポートシステムズ 佐藤 勝 代表取締役社長をはじめ関係者の方々、設計・施工を担当した株式会社浅沼組 植芝 幸擴 取締役 専務執行役員 建築事業本部長をはじめ関係者の方々、プロロジスからは代表取締役社長 山田 御酒らが参列し、施設の完成を祝いました。

新開トランスポートシステムズは、精密機器物流を得意とする「プロロジスパーク舞洲 3」(大阪市此花区)を利用中のリピートカスタマーであり、「プロロジスパーク神戸 4」を事業拡大のための新拠点として活用する予定です。

■ 開発地

「プロロジスパーク神戸 4」は、神戸市内陸部に神戸市が開発する「神戸テクノ・ロジスティックパーク」内に位置しています。同パーク内では既に「プロロジスパーク神戸」、「プロロジスパーク神戸 2」が稼働中であり、プロロジスとしては 3 棟目の開発となります。開発地は山陽自動車道「神戸西 IC」に隣接し、交通アクセスに優れた地点にあります。2018 年 3 月には 新名神高速道路「川西 IC」～「神戸 JCT」間が開通し、京都・奈良・滋賀・中京方面などへのアクセスが大幅に向上しました。山陽自動車道を経て全国に広がる広域幹線網にも直結しており、西日本を広域にカバーすることができる戦略的な物流拠点です。

(次頁に続く)

また、最寄りのバス停から三ノ宮駅までの直行バスが運行しており、神戸中心部から約 28 分でアクセスできるなど、従業員にとっても交通の便が良い立地です。

さらに、神戸市内陸部の丘陵地帯に位置しているため津波等の災害リスクがなく、地盤が強固なため、防災性に優れています。

■ 施設概要

「プロロジスパーク神戸 4」は、敷地面積約 13,000 m²、延床面積約 24,800 m²の 4 階建て物流施設です。標準的な施設仕様に加えて、テーブルリフターを装備するほか、梁のサイズアップにより天井クレーンの設置に対応し、カスタマーが得意とする精密機器の保管に適した物流施設となっています。

また、倉庫内空調・天井ファンを導入することで作業環境の向上を図るとともに、全館 LED 照明・節水便器による省エネルギー化、緊急地震速報システムや衛星電話の導入により、働きやすく安全な環境を整えています。

「プロロジスパーク神戸 4」概要

名 称	プロロジスパーク神戸 4
開 発 地	兵庫県神戸市西区見津が丘 7 丁目 6 番 1
敷 地 面 積	約 13,000m ² (約 3,932 坪)
延 床 面 積	約 24,800m ² (約 7,500 坪)
構 造	地上 4 階建て、鉄骨造
着 工	2018 年 5 月
竣 工	2019 年 6 月

■ 関西のプロロジスパーク

関西においては、2018 年 11 月に竣工した「プロロジスパーク京田辺」をはじめ、14 棟の物流施設を開発・運営中です。兵庫県では「プロロジスパーク神戸 3」、「プロロジスパーク神戸 5」のほか、マルチテナント型物流施設と BTS 型物流施設の集積パークとなる「プロロジス猪名川プロジェクト」を計画中であり、入居企業を募集しています。

プロロジスは、今後もお客様の物流効率化ニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム

https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do